

令和7年第1回士別市議会臨時会会議録

令和7年1月22日（水曜日）

午前10時00分 開会

午前10時42分 閉会

本日の会議事件

開会宣告

会議録署名議員の指名

諸般の報告

日程第 1 会期の決定について

日程第 2 議会改革検討特別委員会副委員長の選任について

日程第 3 議案第1号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第10号）

議案第2号 令和6年度士別市水道事業会計補正予算（第3号）

議案第3号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第7号）

日程第 4 議案第4号 士別市固定資産評価審査委員会委員の選任について

閉会宣告

出席議員（12名）

副議長	1番	村 上 緑 一 君	2番	石 川 陽 介 君	
	3番	湊 祐 介 君	4番	中 山 義 隆 君	
	5番	加 納 由美子 君	6番	奥 山 かおり 君	
	7番	西 川 剛 君	8番	佐 藤 正 君	
	9番	真 保 誠 君	10番	喜 多 武 彦 君	
	12番	大 西 陽 君	議長	15番	山 居 忠 彰 君

欠席議員（1名）

13番 十 河 剛 志 君

出席説明員

市 長	渡 辺 英 次 君	副 市 長	法 邑 和 浩 君
総 務 部 長	大 橋 雅 民 君	市 民 部 長	丸 徹 也 君
健康福祉部長	東 川 晃 宏 君	経 済 部 長	坂 本 英 樹 君
建設環境部長	藪 中 晃 宏 君		

教 育 委 員 会 長	泉 山 浩 幸 君	教 育 委 員 会 長	三 上 正 洋 君
教 育 長		生 涯 学 習 部 長	

病 院 事 業 者	中 舘 佳 嗣 君	経 営 管 理 部 長	池 田 亨 君
副 管 理 者			

監 査 委 員 淺 利 知 充 君

員長 委局 査務 監事

四ツ辻 秀 和 君

事務局出席者

議会事務局長 岡崎忠幸君

議 会 事 務 局
議 務 課 長
議 会 事 務 局
議 務 課 主 任 主 事

須藤友章君

議 会 事 務 局 中 井 聖 子 君
総 務 課 主 査

清水健正君

○議長（山居忠彰君） ただいま御遺族が入場されますので、御起立の上、お迎えください。
（遺族入場）

○議長（山居忠彰君） 御着席ください。

（午前10時00分開会）

○議長（山居忠彰君） 令和7年第1回臨時会が招集されましたところ、本日の出席議員は12名であります。
ただいまから開会いたします。直ちに会議を開きます。

○議長（山居忠彰君） 去る12月26日、谷 守議員が逝去されました。誠に痛恨の極みであります。
士別市議会は、ここに謹んで黙祷をささげ、追悼の言葉をお贈りし、哀悼の意を表したいと思っております。
全員御起立の上、御遺族席の故谷 守議員の遺影にお向き願います。
黙祷をささげます。黙祷。

（全員黙祷）

○議長（山居忠彰君） お直りください。御着席ください。

続きまして、ここに弔意を表し、村上緑一議員から追悼の言葉をお贈りさせていただきたいと思っております。村上緑一議員。

○1番（村上緑一君） （登壇） お許しをいただきましたので、故谷 守議員を偲び、今ここに御遺族の胸に抱かれた遺影を前に、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

今や11番議席に在りし日の容姿と、けいがいには接することも得ず、供花のみが飾られ、議員一同心から惜別の悲しみを憶えるものであります。

私がこの議場で、谷議員のための追悼の言葉を述べることになろうとは夢にも思わず、哀惜の情に耐えないところであります。御遺族及び谷議員を支え、信奉し、将来を期待していた関係者の方々のお気持ちを拝察しますとき、なんと非情であり、こんなことがあっていいのかと、運命というものを恨む気持ちでいっぱいです。心から哀悼の意を表する次第です。

谷議員は、昭和35年10月に士別市で生を受けられ、北海学園大学を卒業後、北星信用金庫の前身であります士別信用金庫に入庫いたしました。平成12年3月に退職した後は、家業の不動産業に従事し、地域に寄り添った事業を続けてこられました。

これまでに培われた強い正義感に加え、行動力と深い洞察力に富み、また、困った人や弱い人には優しく寛容で、そして思いやりのある、心の広い人柄は誰からも頼りにされ、地域の衆望を担い、平成26年4月、誠実・実行力を信条とされ、士別市議会議員に初当選を果たされました。

谷議員は、いつも柔和な表情で話をされておられ、議員として、そして、政治家として、人一倍、士別市を愛し、市民の幸せを願う強い意志を持っておられました。

令和4年4月には3期目の当選を果たされ、これまでの議会活動においては、平成26年5月から議会広報特別委員会副委員長として、委員長を補佐しながら議会広報の一新にも取り組み、平成28年6月からは、副委員長の経験を生かし委員長に就任し、さらに読みやすい広報づくりに取り組みました。

また、議会運営委員会委員長や議会改革検討特別委員会委員長、文教厚生常任委員会委員長の要職を歴任するなど、円滑な議会運営と発展に多大なる御貢献をいただきました。

私も同期議員として11年間、ともに議員活動を行ってきた同士であり、数多くの思い出が浮かびます。

議員 2 期目では同じ会派になり、より一層、谷議員との交流が深まりました。

会派での意見書についての協議の時などは、事前に内容について勉強してこられ、常にリーダーシップをとって会派としての意見をまとめていただきましたし、3 期目には、率先して新人議員に議会のルールなどの指導にあたってくださいました。

谷議員は家庭菜園を趣味の一つとしており、つくも 4 号の栽培方法を私に尋ねられ、秋には多くのつくも 4 号が収穫できたと、喜びの報告をいただいたこともありました。

お孫さんと会えるのを心待ちにしていた時には、特に嬉しそうに話をされており、とても誠実で家族思いの人柄でありました。

谷議員が議員になられて最初の一般質問は、平成 26 年第 2 回定例会で、人口減少問題について、地域包括ケアシステムの構築について、期日前投票制度について熱弁をふるわれました。その後の定例会も毎回のよう一般質問を行い、市民の福祉増進、地域経済の発展、子育て・教育分野についての提言、市政浮揚に関する提案等々、多岐にわたる分野について、あらん限りの熱意と知恵を注ぎ、鋭い観点から議論を交わされ、一貫して是々非々の立場で議員活動を行ってこられました。

病氣療養中は、質問することはもとより、本会議への出席もままなりませんでした。先般の第 4 回定例会、令和 6 年 12 月 10 日の一般質問で谷議員は、市立病院の存続について、自身の経験した闘病も踏まえて質問・提言されました。士別市を愛し、士別市の将来を案じ、市民の幸せを願う谷議員らしい質問でありました。

これら質問の成果を見ずして、この世を去ることは、さぞかし無念であったろうと思いますし、今ひとたび元気になって、この議場で、この壇上で士別市の行政を論じたかったのではないかと思います、涙なきを禁じ得ません。

御存命ならば今後の市政推進に、議員として政治意欲に燃えていた谷議員のお力を、これまで以上に必要としていただけない、谷議員を失うことは、市議会にとりましても誠に痛恨の極みであります。

これから先、谷議員の御遺志を悲しみの中に埋もらすことなく、市民の方々と共に、住みよい士別市建設と市民の幸せのため、努力して参る所存であります。

願わくば、天にありましても、御遺族の御健勝と本市発展に限りない御加護を賜りますようお願い申し上げます。

申し上げれば限りもなく、惜別の情は尽きず、今はもう、あの温容に再び接することは叶いませんが、谷議員の御功績と御遺徳を偲び、謹んで御冥福をお祈り申し上げ、追悼の言葉といたします。

谷議員、安らかに眠りください。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 以上をもちまして、故谷 守議員の追悼を終わらせていただきます。

御遺族におかれましては、御多用のところ、誠にありがとうございました。

御遺族の方が退席されますので、御起立の上、お送りいただきたいと思います。

（遺族退場）

○議長（山居忠彰君） ここで暫時休憩いたします。

（午前 10 時 11 分休憩）

（午前 10 時 20 分再開）

○議長（山居忠彰君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

本臨時会の会議録署名議員には、5 番 加納由美子議員、6 番 奥山かおり議員、7 番 西川 剛議員を指名いたします。

○議長（山居忠彰君） ここで、事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長（岡崎忠幸君） 御報告申し上げます。

初めに、議員の欠席についてであります。13番 十河剛志議員から欠席の届出があります。

次に、本日の議事日程及び諸報告については、配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

（朗読を経ないが掲載する）

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

議案第 1号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第10号）

議案第 2号 令和6年度士別市水道事業会計補正予算（第3号）

議案第 3号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第7号）

議案第 4号 士別市固定資産評価審査委員会委員の選任について

2. 指定している専決処分について市長から送付された報告は次のとおりである。

損害賠償の額を定めることについて

3. 本会議に出席する者は次のとおりである。

市 長	渡 辺 英 次	副 市 長	法 邑 和 浩
総 務 部 長	大 橋 雅 民	市 民 部 長	丸 徹 也
健 康 福 祉 部 長	東 川 晃 宏	経 済 部 長	坂 本 英 樹
建 設 環 境 部 長	藪 中 晃 宏	市 民 部 長	佐 藤 義 弘
		朝 日 支 所 長	
建 設 環 境 部 都 市 整 備 統 括 監 兼 都 市 環 境 課 長	佐々木 誠	企 画 課 長	増 田 晶 彦
総 務 課 長 （ 併 ） 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長	水 留 啓 諭	財 政 課 長	佐 藤 寛 之
税 務 課 長	阿 部 也 寸 志	地 域 福 祉 課 長	瀧 上 聡 典
高 齢 者 福 祉 課 長	青 木 秀 敏	上 下 水 道 局 長	土 田 実
教 育 委 員 会 長 教 育 長	泉 山 浩 幸	教 育 委 員 会 長 生 涯 学 習 部 長	三 上 正 洋
市 立 病 院 病 院 事 業 副 管 理 者	中 舘 佳 嗣	市 立 病 院 経 営 管 理 部 長	池 田 亨
市 立 病 院 総 務 課 長	半 澤 浩 章	市 立 病 院 医 事 課 長	田 上 泰 成
市 立 病 院 総 務 課 副 長	水 村 友 博	市 立 病 院 総 務 課 主 幹	木 島 啓
農 業 委 員 会 会 長	上 野 浩 二	農 業 委 員 会 会 長 職 務 代 理 者	工 藤 修 一

農 業 委 員 会 事 務 局 長	林 秀 忠	監 査 委 員	浅 利 知 充
監 査 委 員 事 務 局 長	四ツ辻 秀 和		

4. 本会議の事務に従事する者は次のとおりである。

議 会 事 務 局 長	岡 崎 忠 幸	議 会 事 務 局 総 務 課 長	須 藤 友 章
議 会 事 務 局 総 務 課 主 査	中 井 聖 子	議 会 事 務 局 総 務 課 主 任 主 事	清 水 健 正

以上報告する。

令和7年1月22日

士別市議会議長 山 居 忠 彰

○議長（山居忠彰君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、会期の決定についてを議題に供します。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日限りと決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日限りと決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第2、議会改革検討特別委員会副委員長の選任を行います。

この選任については、士別市議会委員会条例第8条第2項の規定により、佐藤 正議員を議会改革検討特別委員会副委員長に選任いたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

よって、佐藤 正議員を、議会改革検討特別委員会副委員長に選任することに決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第3、議案第1号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第10号）、議案第2号 令和6年度士別市水道事業会計補正予算（第3号）及び議案第3号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第7号）、以上3案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君） （登壇） ただいま議題となりました議案第1号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第10号）から議案第3号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第7号）について、関連がありますので一括してその概要を御説明申し上げます。

本補正は、国の補正予算第1号に伴い、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が追加配分され、特に、物価高騰の影響を受ける低所得世帯への給付金事業など当面の措置を要するものについて所要の補正を行うもので、以下、その主な内容について御説明いたします。

はじめに、一般会計総務費についてです。

物価高騰に伴う住民税非課税世帯給付金給付事業費では、6年度分の住民税が非課税である世帯に、1世帯当たり3万円の現金を給付するため、事務費と合わせて9,440万3,000円を追加計上しました。

住民税非課税子育て世帯等給付金給付事業費では、住民税非課税世帯への給付加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の子供1人につき2万円の現金を給付するため、事務費とあわせ520万2,000円を追加計上しました。介護・障がい施設物価高騰応援金事業費では、エネルギー・食料品価格等の高騰に伴い運営経費が急増している介護・障害福祉事業所に安定的な運営と利用者へのサービス提供に資する応援金を交付するため、3,573万円を計上しました。士別市立病院物価高騰応援金事業費では、同様に、エネルギー・食料品価格等の高騰に伴い給食材料費をはじめとする病床の維持に要する経費が急増していることから、士別市立病院に対して安定的な運営に資する応援金を交付するため、5,500万円を計上しました。

なお、これらに要する財源については、国庫支出金の特定財源のほか、普通交付税の一般財源をもって収支の均衡を図った次第です。

次に、繰越明許費の補正についてです。

事業実施時期との関連から年度内完了が困難な2事業について、予算を繰り越して実施するため、所要の措置を講じるものです。

次に、水道事業会計です。

国の令和6年度補正予算を受け内示のあった防災・安全交付金を活用し、災害時の給水拠点確保に向けて、次年度に予定していた耐震管の布設替えを前倒して実施するもので、資本的支出に、建設改良費として8,106万8,000円を追加計上しました。

これに伴う財源として、企業債及び国庫補助金を計上したところです。

次に、病院事業会計です。

収益的収入の医業外収益において、光熱水費や食料品など長引く物価高騰に、公定価格である診療報酬では賄いきれないことに対する応援金として、5,500万円を計上しました。

以上、今回の補正の概要について御説明申し上げます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。大西 陽議員。

○12番（大西 陽君） それでは、いま提案された件について何点かお聞きいたします。

今回の臨時交付金事業は、エネルギー物価高騰対策の目的であれ具体的な取組の内容についてはそれぞれの自治体の裁量に委ねられることになるのかどうか。この辺を確認したい。

○議長（山居忠彰君） 大橋総務部長。

○総務部長（大橋雅民君） 大西議員の御質問にお答えいたします。

今回、国の6年度補正で行う物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金ですけども、いくつか国のほうから推奨事業のメニューが示されております。それに基づくような形で自治体の実情に沿ったような形で事業を構築できるというような中身になっています。以上です。

○議長（山居忠彰君） 大西議員。

○12番（大西 陽君） 国の示されたメニューでいわゆる推奨事業について、ちょっと触れたいと思います。今回の提案は介護・障害福祉事業者への応援金として3,573万円。それから、市立病院に対する応援金として5,500万円を支援するとのこととあります。気になるのは、市立病院については厳しい経営環境の中で昨年経営の指針となる経営強化プランを策定して病院機能の維持をしていくという取組をさらに強化をしているのが実態であります。その中であって、本市としても毎年一般会計繰出し基準に基づいて交付税を差し引いた、いわゆる実質繰出し金として5億円あまりを毎年支出をしています。逆にこの繰出し金がなければ、より市民生活に直結をした政策を展開できると思いますが、市民の皆さんは将来とも市立病院の存続のためと理解をして、いわゆる我慢をさせていただいていると

というのが実態でありますから。これらを鑑み、市立病院についてはいろんな対策、設置者の士別市として一定程度の支援を日ごろからしながら存続に向けて取組をしてますから、これらを鑑みて今回の提案である介護・障害福祉事業所は民間事業所ということで人手不足、物価高騰、非常に大変な運営をされていると聞いております。ぜひこの機会に支援を手厚く市立病院と介護事業所を比較して介護事業所の支援を手厚く組み換えをすべきと思います。

ついては、どうしてもこの提案をなんとか通したいということであれば、1号議案、さらに関連する3号議案については反対をいたします。

○議長（山居忠彰君） 法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君） ただいま大西議員のほうから介護施設に対する応援金を手厚くして市立病院に対する応援金についてはちょっと見直すべきだという御意見をいただきました。

市としましては今回の国の重点支援の地方創生臨時交付金を活用しての支援については、提案のとおり医療・介護分野に重点をおいた補正ということで考えてまいりました。介護・福祉施設事業所についてはですね、介護報酬改定等を国が行っておりますけれども処遇改善等の加算でありますとか、あるいは光熱水費の部分については基準費用額の増額など一部見られてはいますけれども、まだまだ不十分だという状況でありまして、その介護支出を運営経費が急増する中でやはり安定的な運営が厳しい状況にあるということで市としては認識しておりますので、そこは人材確保でありますとか経営に支障を来たしてサービスを、多くの市民の方利用されていますのでサービス低下につながらないよというところでこの補正においては3,573万円を給付するという予算を計上しております。

また、一方の市立病院でありますけれども、ここについても同様なんでありまして、やはり物価高騰等による影響を相当受けております。さらに加えてコロナ禍以降の患者さんの受診動向等も変わってきておりますので経営のほうも大変厳しい状況になっております。物価高騰等による影響の部分については国においても公定価格があるわけです。一部は措置をしておりますけれども、やはり診療報酬では全く賄いきれない経費が相当生じております。これは市として積算する中で今回5,500万円という補正をしたわけでありまして、当然臨時交付金限度額、今回ですと総額8,700万円という額がありますので、その中においていろんな様々な他の事業所への支援等々も検討する中で、市としては最終的には市立病院と介護事業所に応援金を支給するべきだという判断をしたところであります。病院が経営不安定だということになると、これやっぱ多くの市民の生活の基盤となる施設でありますのでそこで安定的な経営を何とかしていかなければならないということで、そこに少しでも経営改善につながるように今回応援金を支出したいということでありまして。仮にその部分一般会計が繰出し金を増額して繰出すということになると、これは税で賄うということになりますので。これは市民負担が増えるということにもつながりますので、今回市としましては提案のとおり補正とさせていただきますと考えておりますので、御理解のほどお願い申し上げます。

○議長（山居忠彰君） これに関連して、ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。大西 陽議員。

○12番（大西 陽君） 副市長からの説明については、全体的な構成なのでこれに特化した説明とは受け止めておりません。ついては、先ほども申しあげましたけれどもこの1号、それから関連する3号についてはあくまでも反対をいたします。

○議長（山居忠彰君） それでは、御異議がございますので、改めて分割して採決いたします。

はじめに議案第1号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第10号）及び議案第3号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第7号）については、原案のとおり決することに賛成の議員の起立を

求めます。

(賛成者起立)

○議長(山居忠彰君) 起立多数であります。

よって、議案第1号及び議案第3号は、原案のとおり可決されました。

○議長(山居忠彰君) 次に、議案第2号については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

○議長(山居忠彰君) 次に、日程第4、議案第4号 士別市固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長(渡辺英次君) (登壇) ただいま議題となりました議案第4号 士別市固定資産評価審査委員会委員の選任について、御説明申し上げます。

去る12月24日、土岐浩二委員の逝去に伴い欠員となっている固定資産評価審査委員会委員について、藤森裕悦氏を新たに選任いたしたく、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。(降壇)

○議長(山居忠彰君) 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案に同意することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第4号は原案同意と決定いたしました。

○議長(山居忠彰君) 以上で本臨時会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

令和7年第1回臨時会はこれをもって閉会いたします。

御苦労さまでした。

(午前10時42分閉会)

以上、本会議のてん末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和7年1月22日

士別市議会議長 山 居 忠 彰

署 名 議 員 加 納 由美子

〃 奥 山 かおり

〃 西 川 剛

令和 7 年 第 1 回 臨時 会 議 決 結 果 表

令和 7 年 1 月 2 2 日 開 会

令和 7 年 1 月 2 2 日 閉 会

議 案 番 号	件 名	議決月日	結 果
	会期の決定について	1 月 22 日	決 定
	議会改革検討特別委員会副委員長の選任について	〃	選 任
議 案 1	令和 6 年度士別市一般会計補正予算（第 10 号）	〃	原 案 可 決
議 案 2	令和 6 年度士別市水道事業会計補正予算（第 3 号）	〃	〃
議 案 3	令和 6 年度士別市病院事業会計補正予算（第 7 号）	〃	〃
議 案 4	士別市固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	原 案 同 意